



平成21年3月期 第1四半期決算短信

平成20年8月8日

上場会社名 ミズノ株式会社

コード番号 8022 URL <http://www.mizuno.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 水野 明人

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理財務担当 (氏名) 福本 大介

TEL 06-6614-8465

四半期報告書提出予定日 平成20年8月11日

(百万円未満切捨て)

1. 平成21年3月期第1四半期の連結業績 (平成20年4月1日～平成20年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第1四半期	45,182	△3.7	3,209	△9.8	3,253	△14.4	1,884	△18.2
20年3月期第1四半期	46,923	7.5	3,556	13.3	3,799	16.8	2,304	△44.0

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
21年3月期第1四半期	15	11	—	—
20年3月期第1四半期	18	47	—	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%		円	銭
21年3月期第1四半期	143,616		82,150		57.1		657	55
20年3月期	144,169		81,425		56.4		651	73
(参考) 自己資本	21年3月期第1四半期		81,978百万円		20年3月期		81,260百万円	

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
20年3月期	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	— —	— —	— —	— —	— —
21年3月期(予想)	— —	5 00	— —	5 00	10 00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 : 無

3. 平成21年3月期の連結業績予想 (平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
第2四半期 連結累計期間	88,300	1.6	4,100	△0.4	4,000	0.0	2,300	10.9	18	45
通期	177,000	1.7	8,200	4.4	8,000	7.1	4,700	94.2	37	70

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 : 無

4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社(社名) 除外 一社(社名)
- (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
(注) 詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。
- (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)
① 会計基準等の改正に伴う変更 : 有
② ①以外の変更 : 無
(注) 詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。
- (4) 発行済株式数(普通株式)
- | | | | | |
|----------------------|-------------|--------------|-------------|--------------|
| ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) | | | | |
| | 21年3月期第1四半期 | 132,891,217株 | 20年3月期 | 132,891,217株 |
| ② 期末自己株式数 | | | | |
| | 21年3月期第1四半期 | 8,218,788株 | 20年3月期 | 8,208,367株 |
| ③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) | | | | |
| | 21年3月期第1四半期 | 124,677,742株 | 20年3月期第1四半期 | 124,740,027株 |

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 平成20年5月22日に公表いたしました連結業績予想は、第2四半期連結累計期間、通期とも修正しておりません。
2. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社グループが現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項は、3ページの【定性的情報・財務諸表等】 3. 連結業績予想に関する定性的情報をご参照下さい。
3. 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間の日本経済は、輸出の減速や設備投資の減少に加え、ガソリンや食料品など家計の支出費目を中心とした物価の上昇が、民間消費の減少の要因となるなど、景気の下振れリスクが高まる展開となりました。海外経済は、米国における住宅市場の冷え込みや原油価格高騰を背景にした個人消費の低迷などによる成長率の低下を受け、一部に減速傾向が見られたものの、経済は比較的安定して推移しました。

スポーツ品業界におきましては、北京オリンピック開催の高まりを受け、各地域でトップクラスのスポーツ大会が相次いで開催された影響もあり、競技スポーツの分野は安定した需要がありました。また、健康増進や趣味でスポーツを楽しむ健康スポーツの分野は、健康管理への一層の関心から着実に拡大しております。

このような情勢におきまして、当社グループは、スポーツ品の「機能性」を使用時に発揮される高いパフォーマンスとユーザーの情緒的な感性に corres 応することと定義し、スポーツを通して得られる感動や挑戦心を高めることをブランド戦略の中核とし、販売活動に取り組んでまいりました。

国内においては、ブランドメッセージの効果的な発信を目的として進めてまいりましたブランドマーク統一の効果は、各種スポーツ大会において露出を拡大することにより一層発揮されましたが、景気に対する先行き不透明感が増す中、ゴルフ品など高価格帯商品の伸び悩みにより、十分な成果を上げることはできませんでした。

海外においては、専門店や地域スポーツ大会などを基点に、グループ共通のブランド戦略である高い機能性や専門性を訴求いたしました。特に欧米市場においては、ランニング専門誌より高い評価を受けている「ミズノウェーブ」搭載のランニングシューズの売上が大幅に増加いたしました。アジア市場では、北京オリンピックに向けスポーツ熱が高まる中国において、競争が一層激化いたしました。海外事業全体としては、ゴルフやランニングのフィッティングサービスなど、付加価値の高い販売サービスを提供し差別化を図りましたが、ゴルフ品など高価格帯商品の売上が伸び悩んだことから苦戦いたしました。

以上の結果、当第1四半期連結会計期間の業績につきましては、売上高は前年同期に比べ17億4千1百万円減(3.7%減)の451億8千2百万円、営業利益は3億4千7百万円減(9.8%減)の32億9百万円、経常利益は5億4千5百万円減(14.4%減)の32億5千3百万円、四半期純利益は4億1千9百万円減(18.2%減)の18億8千4百万円となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

総資産は、前連結会計年度末に比べ5億5千2百万円減少し、1,436億1千6百万円となりました。現金及び預金が16億9千9百万円増加する一方で、受取手形及び売掛金が13億6千1百万円減少いたしました。

負債は、前連結会計年度末に比べ12億7千8百万円減少し、614億6千5百万円となりました。未払費用が15億6千9百万円減少したことが主な要因です。

純資産は、前連結会計年度末に比べ7億2千5百万円増加し、821億5千万円となりました。この主な要因は、四半期純利益の計上などにより利益剰余金が12億6千万円増加する一方で、為替換算調整勘定などの評価・換算差額等合計が5億3千5百万円減少したことによるものです。以上の結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の56.4%から57.1%となりました。

キャッシュ・フローの状況は以下のとおりです。

＜営業活動によるキャッシュ・フロー＞

当第1四半期連結会計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、19億3千6百万円の収入となりました。収入の主な内訳は、税金等調整前四半期純利益が32億4千8百万円、仕入債務の増加が11億2千3百万円であり、支出の主な内訳は、その他に含まれる未払費用の減少が15億円、たな卸資産の増加が7億6千7百万円です。

＜投資活動によるキャッシュ・フロー＞

当第1四半期連結会計期間における投資活動によるキャッシュ・フローは、6億9千9百万円の支出となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出7億5千3百万円によるものです。

＜財務活動によるキャッシュ・フロー＞

当第1四半期連結会計期間における財務活動によるキャッシュ・フローは、6億3千4百万円の収入となりました。収入は短期借入金の純増額27億5百万円であり、支出の主なものは、コマーシャルペーパーの純減額15億円、配当金の支払5億6千4百万円です。

以上の結果、当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末に比べ17億円増加し、131億3千万円となりました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

石油価格の高騰をはじめとする原材料コストの上昇や、サブプライム問題に端を発した金融市場の混乱や個人消費の減速などの経済全体の先行き不透明感は、当社グループの事業経営に重くのしかかる状況となっておりますが、新製品の開発・投入や各種のコスト削減に努めるなど、外部環境の変化に適応した対策実施に取り組んでまいります。

従いまして、平成20年5月22日に発表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想に関しましては、現在のところ変更はありません。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

①簡便な会計処理

該当事項はありません。

②四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

税金費用の算定方法

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税金等調整前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税金等調整前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

①当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号 平成19年3月14日)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号 平成19年3月14日)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

②当第1四半期連結会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」(企業会計基準第9号 平成18年7月5日)を適用し、評価基準については、従来の原価法から原価法(収益性の低下による簿価切下げの方法)に変更しております。これにより、従来の方法によった場合に比べて、売上総利益、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益がそれぞれ13百万円減少しております。

③当第1四半期連結会計期間より「連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い」(実務対応報告第18号 平成18年5月17日)を適用し、連結決算上必要な修正を行っております。これに伴う営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響はありません。

5. 【四半期連結財務諸表】

(1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成20年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	12,622	10,922
受取手形及び売掛金	35,172	36,534
有価証券	1,608	1,607
商品	25,367	25,688
製品	225	1,272
半製品	87	86
原材料	1,519	793
仕掛品	864	538
繰延税金資産	3,485	4,804
その他	5,554	4,726
貸倒引当金	△829	△789
流動資産合計	85,677	86,186
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	*1 22,012	*1 22,417
土地	15,235	15,249
その他(純額)	*1 2,355	*1 2,360
有形固定資産合計	39,603	40,027
無形固定資産		
投資その他の資産	655	726
投資有価証券	10,436	9,624
繰延税金資産	1,273	1,804
その他	9,282	9,144
貸倒引当金	△3,311	△3,345
投資その他の資産合計	17,681	17,228
固定資産合計	57,939	57,982
資産合計	143,616	144,169

(単位：百万円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成20年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	18,055	17,460
短期借入金	10,898	8,981
1年内返済予定の長期借入金	3,000	3,000
未払法人税等	458	572
返品調整引当金	213	213
その他	10,236	13,882
流動負債合計	42,861	44,110
固定負債		
長期借入金	11,300	11,300
繰延税金負債	463	463
再評価に係る繰延税金負債	3,297	3,297
退職給付引当金	946	881
その他	2,596	2,691
固定負債合計	18,603	18,633
負債合計	61,465	62,743
純資産の部		
株主資本		
資本金	26,137	26,137
資本剰余金	31,195	31,195
利益剰余金	28,575	27,314
自己株式	△2,977	△2,971
株主資本合計	82,930	81,676
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	1,825	1,341
繰延ヘッジ損益	209	△597
土地再評価差額金	△1,538	△1,538
為替換算調整勘定	△1,448	377
評価・換算差額等合計	△951	△416
少数株主持分	172	165
純資産合計	82,150	81,425
負債純資産合計	143,616	144,169

(2) 【四半期連結損益計算書】

(単位：百万円)

当第1四半期連結累計期間
 (自平成20年4月1日
 至平成20年6月30日)

売上高	45,182
売上原価	26,093
売上総利益	19,088
販売費及び一般管理費	* 15,879
営業利益	3,209
営業外収益	
受取利息	57
受取配当金	88
為替差益	119
その他	90
営業外収益合計	356
営業外費用	
支払利息	174
売上割引	113
その他	24
営業外費用合計	312
経常利益	3,253
特別利益	
固定資産売却益	0
特別利益合計	0
特別損失	
固定資産売却損	3
固定資産除却損	0
その他	1
特別損失合計	4
税金等調整前四半期純利益	3,248
法人税等	1,347
少数株主利益	17
四半期純利益	1,884

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：百万円)

当第1四半期連結累計期間
 (自 平成20年4月1日
 至 平成20年6月30日)

営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	3,248
減価償却費	657
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	235
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	78
有価証券及び投資有価証券評価損益 (△は益)	1
受取利息及び受取配当金	△146
支払利息	174
固定資産売却損益 (△は益)	2
固定資産除却損	0
売上債権の増減額 (△は増加)	△49
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△767
仕入債務の増減額 (△は減少)	1,123
その他の引当金の増減額 (△は減少)	△60
その他	△2,141
小計	2,356
利息及び配当金の受取額	157
利息の支払額	△102
法人税等の支払額	△475
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,936
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△753
有形固定資産の売却による収入	1
無形固定資産の取得による支出	△16
短期貸付金の増減額 (△は増加)	△3
長期貸付金の回収による収入	5
その他	66
投資活動によるキャッシュ・フロー	△699
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額 (△は減少)	2,705
コマーシャル・ペーパーの増減額 (△は減少)	△1,500
自己株式の売却による収入	0
自己株式の取得による支出	△6
配当金の支払額	△564
財務活動によるキャッシュ・フロー	634
現金及び現金同等物に係る換算差額	△170
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,700
現金及び現金同等物の期首残高	11,429
現金及び現金同等物の四半期末残高	※ 13,130

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号 平成19年3月14日)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号 平成19年3月14日)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

6. その他の情報

注記事項

(四半期連結貸借対照表関係)

当第1四半期連結会計期間末 (平成20年6月30日)	前連結会計年度末 (平成20年3月31日)
※1 有形固定資産の減価償却累計額 33,592百万円	※1 有形固定資産の減価償却累計額 31,249百万円
2 保証債務 庄内ゴルフ倶楽部(旧マープ月山 ゴルフ倶楽部)会員の金融機関借 入に関わる保証 58百万円	2 保証債務 庄内ゴルフ倶楽部(旧マープ月山 ゴルフ倶楽部)会員の金融機関借 入に関わる保証 60百万円

(四半期連結損益計算書関係)

当第1四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)	
※ 販売費及び一般管理費の主なもの	
運賃及び荷造費	818百万円
保管費	917百万円
広告宣伝費	3,172百万円
貸倒引当金繰入額	102百万円
給料及び手当	4,536百万円
賞与	804百万円
退職給付費用	484百万円
減価償却費	647百万円

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第1四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)	
※ 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係	
現金及び預金勘定	12,622 百万円
期末日から3ヶ月以内に償還期限 が到来する短期投資(有価証券)	508 百万円
現金及び現金同等物	13,130 百万円

「参考資料」

前四半期に係る財務諸表等

(要約) 四半期連結損益計算書

科 目	前第1四半期連結累計期間 (自 平成19年4月 1日 至 平成19年6月30日)
	金額
I 売上高	46,923
II 売上原価	27,087
売上総利益	19,835
III 販売費及び一般管理費	16,279
営業利益	3,556
IV 営業外収益	562
V 営業外費用	320
経常利益	3,799
VI 特別利益	0
VII 特別損失	24
税金等調整前四半期純利益	3,774
法人税等	1,453
少数株主利益(減算)	16
四半期純利益	2,304